

平成から令和へ

本号から、これまで本欄「（公財）神戸大学六甲台後援会だより」に執筆いただいていた新野幸次郎先生（本財団特別顧問）に代わり、本財団常務理事を仰せつかっている神戸大学大学院法学研究科・法学部教授の井上典之（昭和58年法卒）が担当することになりました。今回は、高崎正弘・本財団理事長による財団設立60周年を記念するご挨拶となりましたが、ちょうど元号も平成から令和に改元された今回から、新天皇陛下と同じ年（昭和35年）に生まれた井上が本欄の執筆担当に代わり、区切りのいい時期ではないかと勝手に思い込んでおります。今後とも何卒宜しくお願いいたします。

平成最後の本年4月より、神戸大学は武田廣学長の第二期がスタートしました。それに併せて本部執行部の面々も変更があり、新たな体制で国立大学法人に対する荒波に立ち向かっているようにあります。本部新体制は、おそらく新元号・令和においてますます厳しさを増す大学経営に従事されることと思えます。六甲台キャンパスの様子は特に変わりなく、学生諸君は元気に明るく過ごす日々を送っております。ただ改元と重なった4月末から5月初めの10日間のゴールデンウィークでは、講義日数の関係で5月6日が休日とはならず、六甲台でも講義が行われて多少不満顔の学生も見受けられました。まあどこの観光地も人であふれていたので、大学に来て勉強するも一つの選択

肢としては良かったのではないかと思います。

なお、この間の出来事としては、長年にわたり本財団の理事をお務めいただき、本年度より本財団の評議員をお務めいただくことになった神戸大学名誉教授で、現在、神戸大学社会科学系法学域特命教授の根岸哲先生（昭和40年法卒）が、本年3月4日に神戸大学出光佐三記念六甲台講堂で開催された日本学士院会員に選定されたことを記念する学術講演会において、「競争法にグローバルスタンダードはあるのか―競争法の収斂と多様性―」と題するご講演を行われました。そこで先生は、現在のグローバル化する社会において、先生のご専門であらせられる競争法がどのように変化していくのか、特にアメリカと欧州、中国との比較において日本の競争法が今後どのように変わるのか変わらないのかについてお話しされました。また、同じく3月19日には、先生を囲んでの法学研究科・法学部の先生方との懇親会も行われ、過去・現在の同僚との親睦を深めることができました。ここに、新たな元号の下でも、先生のますますのご活躍を祈念したいと思います。

以上のような内容で、今後も神戸大学の現状の報告を兼ねて、本欄を執筆していこうと考えております。

平成31年度（令和元年度）事業計画について

皆様ご承知のことと思いますが、公益財団法人神戸大学六甲台後援会は、財団設立以降、主に本学の社会科学系部局の学術の発展と教育の充実に寄与することを目的として次のような事業を行っています。

(1) 学術交流の促進に対する助成
 (2) 学術成果の公開に対する助成
 (3) 教育の充実に対する助成
 (4) 学術基盤の整備に対する助成
 (5) 学術交流施設の維持管理

このような各種事業は、皆様から今までにいただいた寄附金の運用収益や新たに卒業生の皆様等からいただいた貴重なご寄附により行っています。

さて、平成31年度事業計画につきまして、その概要をご報告申し上げます。

3月11日に開催されました第28回理事会におきまして、平成31年度資金運用計画案を審議決定しました後に平成31年度事業計画書及び収支予算書について審議を行いました。

事業計画は、昨年12月、社会科学系各部署に対して助成事業の募集を行い、応募申請された各種事業について助成事業選考委員会において、それぞれの事業が本財団の公益事業に相応しいかを審査したもので、その結果を基に理事会において審議・承認されたものです。

1. 学術交流の促進に対する助成 計 1,660万円
 (1) 海外研究活動支援 1,030万円
 ア. 海外派遣支援
 イ. 外国人研究者招聘支援
 (2) 学会・シンポジウム・カンファレンス・ワークショップ等開催支援 630万円

2. 学術成果の公開に対する助成 計 40万円

(1) 海外学術雑誌投稿に対する支援
 3. 教育の充実に対する支援 計 1,844万円

(1) 学部学生の教育に対する支援 664万円

ア. 成績優秀者に対する奨学金支給(社会科学特別奨励賞)
 イ. 4年間の成績優秀者に対する支援(六甲台賞)

ウ. 各部署における各種教育プログラムに対する支援

エ. 学部学生の海外派遣に対する支援

オ. 学部相互履修科目開講支援

カ. 寄附講義開講支援

キ. キャリア形成に対する支援

(2) 大学院学生の教育に対する支援 810万円

ア. 各部署における各種教育プログラムに対する支援

イ. 大学院生の海外派遣に対する支援(社会科学特別奨励賞を含む)

ウ. エクスターンシップ実施支援

(3) 特定の基金による学部学生及び大学院学生の教育に対する支援 370万円

ア. 凌霜研究奨学基金による教育に対する支援

イ. 田崎奨学基金による奨学金支給

ウ. 久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援

4. 学術研究に対する支援 計 650万円

(1) 研究プロジェクトに対する支援

(2) 社会システムイノベーションセンターに対する支援

(3) 特定の基金による学術研究に対する支援

ア. 裏山研究奨学基金による学術研究に対する支援

5. 学術基盤整備に対する支援 計 106万円
6. 学術交流施設の維持管理による学術交流の促進に関する事業 計 35万円

合計 4,335万円

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、年度末までに次の皆様からご寄附をいただきました。

金額別に、此松智秀様（平11経済）5千円、岡田裕太様（平27経営）1万円、吉田昭彦様（昭32経営）2万円、森口隆宏様（昭42経済）10万円です。これで平成30年度中の受入額は、合計1,550万8,693円になりました。

平成31年度になつてからは（5月28日現在）、石原謙一様（昭33経済）3千円、正亀慶介様（昭29法）、亀岡幹雄様（昭29法）各5千円、亀井武彦様（昭29経営Ⅱ）、成住俊二様（昭29法）、佐藤道生様（昭29経営）、上之園久様（昭29経済）、大西諭様（昭29経済）、二宮長良様（昭29経済）、子安武様（昭29経営）、奥田将人様（昭29経済）各1万円、立花芳郎様（昭29経済）2万円、三宅基治様（昭44経済）、宮本靖彦様（昭30経営）、萱村康哉様（昭29経営）、神山泰雄様（昭29法）、小川光生様（昭29経済）、山田博明様（昭29法）各3万円、瀬野銅太郎様（昭46経営）5万円、原田壽夫様（昭40経営）、安藤幹雄様（昭45法）、中西寛治様（昭29経済）、高田順甫様（昭29法）各10万円、根岸哲様（昭40法）50万円をご寄附いただきました。誠にありがとうございます。

昭和34年法学部・経済学部・経営学部卒業の凌霜三四会の皆様からご寄附をいただきました

凌霜三四会の皆様は、6月6日、出光佐三記念六甲台講堂において「卒業60周年記念全国大会」を80名を超える多くの方が参加され盛大に催されました。

この卒業60周年を記念して総額300万円の多額の寄附金を集められ、うち180万円を六甲台後援会に、120万円を大学基金にご寄附いただきました。

この六甲台後援会へのご寄附は、記念祝賀会の席で金原正展大会実行委員長から高崎正弘理事長に贈呈され、大学基金へのご寄附は、後日、凌霜三四会を代表して武田学長に高崎理事長から贈呈されました。

三四会の皆様は、卒業間もない頃からの周年記念行事・新年祝賀会・国内外の旅行など、多くの機会を通じて、同期の絆・一体感を60年の永きに亘って大事にしてこられました。毎回お願いしていただきますの送り先は左記のとおりです。よろしくお願い申し上げます。



◎銀行送金の場合（銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です
から、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

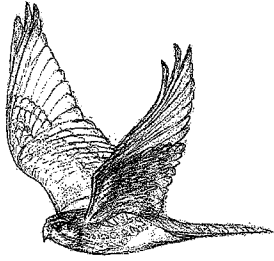
〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078)861-3013

E-mail: rokkodafund@kobe-u.com



コノクゲンボウ
珠二郎